

第3回いわき市震災メモリアル検討会議の主な意見等

1 事業の基本的な考え方と方向性の整理について

【論点】

- ・ 3つの視点（＝事業ミッション）「追悼・鎮魂」、「震災の記憶の保存と継承」、「危機意識や防災意識の醸成」のうち何に比重を置くか。
- ・ 4つの震災経験「地震災害」、「津波災害」、「原子力災害」、「避難者受入れ」をどのように整理し、どこまで踏み込んで捉えるか。

【主な意見】

- ・ 「震災の記憶の保存と継承」を核として掲げ、その結果として追悼・鎮魂や減災教育について展開する方法が適切である。
- ・ 「震災の記憶や教訓を風化させず、確実に伝承し、減災教育に活かす。」の「風化させず」という文言を現在進行形のニュアンスの表現に変更する。
- ・ 4つの震災経験「地震災害」、「津波災害」、「原子力災害」、「避難者受入れ」について、「避難者受入れ」を他の3つから独立させ、別の位置づけとして再考する。

2 事業コンセプトについて

【論点】

- ・ ネットワークのイメージのすりあわせと共有を行う。ネットワークを「震災遺産」「人と知」「地域資源」の3つに整理し、イメージの通り展開することで良いか。

【主な意見】

- ・ 第一段階としてネットワークの中心となる中核拠点施設を整備し、第二段階以降にネットワークを構築していくという趣旨が伝わる表現でまとめる。
- ・ ネットワークの中心となる中核拠点施設をつくるとして、現在でも行われている各地域での取り組みも復興の歴史として捉え、活動を記録し、取り組みと連携を図ることを意識した活動も施設内で行っていく。
- ・ ひとつの施設で各地域での取り組みを伝えられるような機能が必要である。
また、取り組みを記録し伝えるだけでなく、支援するような体制がとれれば尚良い。

3 その他

【論点】

- ・ 拠点施設の設置場所、設備イメージについて

【主な意見】

- ・ ある程度の面積が確保できる沿岸部が好ましい。薄磯、豊間辺りが妥当か。
- ・ 津波被災地域を望める高台が好ましい。
- ・ アクセスも重要な要素である。